



『内閣府では、7月を「青少年の非行・被害防止全国強調月間」と定めており、青少年を取り巻く環境の変化を踏まえ、幅広い関係機関の参加と関係団体の協力・協賛を得て、国民の意識の高揚を図り、青少年の非行・被害防止のための啓発活動を全国で実施してまいりました。』（内閣府HPより引用）

我が横須賀では、当協議会の環境研究部会が中心となり、毎年7月と11月に各地域で、関係機関・団体のみならず地域の方々の参加を得て、子どもの性被害防止・有害環境への対応など、総合的な非行・被害防止のキャンペーン活動を展開し

非行防止 キャンペーン



ています。
学校が夏休みに入る今年7月には、次の4か所で実施されました。

7月6日16時

横須賀中央駅周辺

不参加・常葉・大津中学校区共催
参加57名(中学生25、推進員18、その他14)



道行く人に非行防止キャンペーンの声かけをしながら、パンフレットとティッシュを配布しました。

小雨模様だったせいか、声をかけても受け取ってくれる人が少なく、はじめは元気に声を出していた中学生も、だんだん声が小さくなっていきました。
しかし、仲間と協力し合い、人の流れも考えな

がら配布したことで、例年と同じくらしいの時間で配布が完了しました。
最後に記念撮影の笑顔から、この活動の達成感を味わっていたように思います。
(山本光)

7月20日16時

汐入駅周辺

坂本中学校区主催
参加32名(中学生7、推進員7、その他18)



7月20日16時

追浜駅周辺

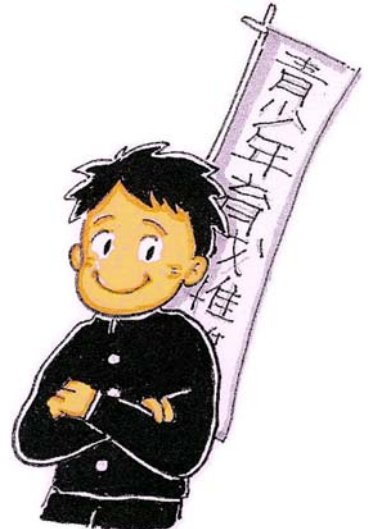
追浜・鷹取中学校区共催
参加65名(中学生30、推進員11、その他24)

梅雨が明けきららない中で小雨がパラつき、気温は29度越え。これは最悪!と思っただけ、子どもたちも地域の方々も、元気に啓発物を配り、道行く人に協力

を訴えてくれた。
「雨降りも気温が高いのもやだね」と思っているが、着るみ(ウサギくんとかックリン)を着たいーそんな子どもたちの気持ちには、わからないでもないけれど、暑い思いをさせってしまったあと、何となく申し訳ない。



その子どもたち、例年は生徒会中心だけれど、毎年ポスターを作って学校に配布してきた成果か、今年は



そのポスターを見た子どもたちが、参加を名乗り出てくれた。しかも来年も参加したいとのこと。
悪条件に気をもんだけれど、子どもたちのこの一言に、ほっと安ど感を覚えた次第である。
(小川輝夫)

7月20日16時

馬堀海岸駅周辺

馬堀中学校区主催
参加35名(中学生8、推進員5、その他22)



がんばってます！地域活動



参加 300 名、北下浦中学校にて。今年 7 月 30 日（火）の様子。

そうめん流し
北下浦中学校区



参加 6 チーム、野比海岸にて。2018 年 9 月 8 日（土）の様子。

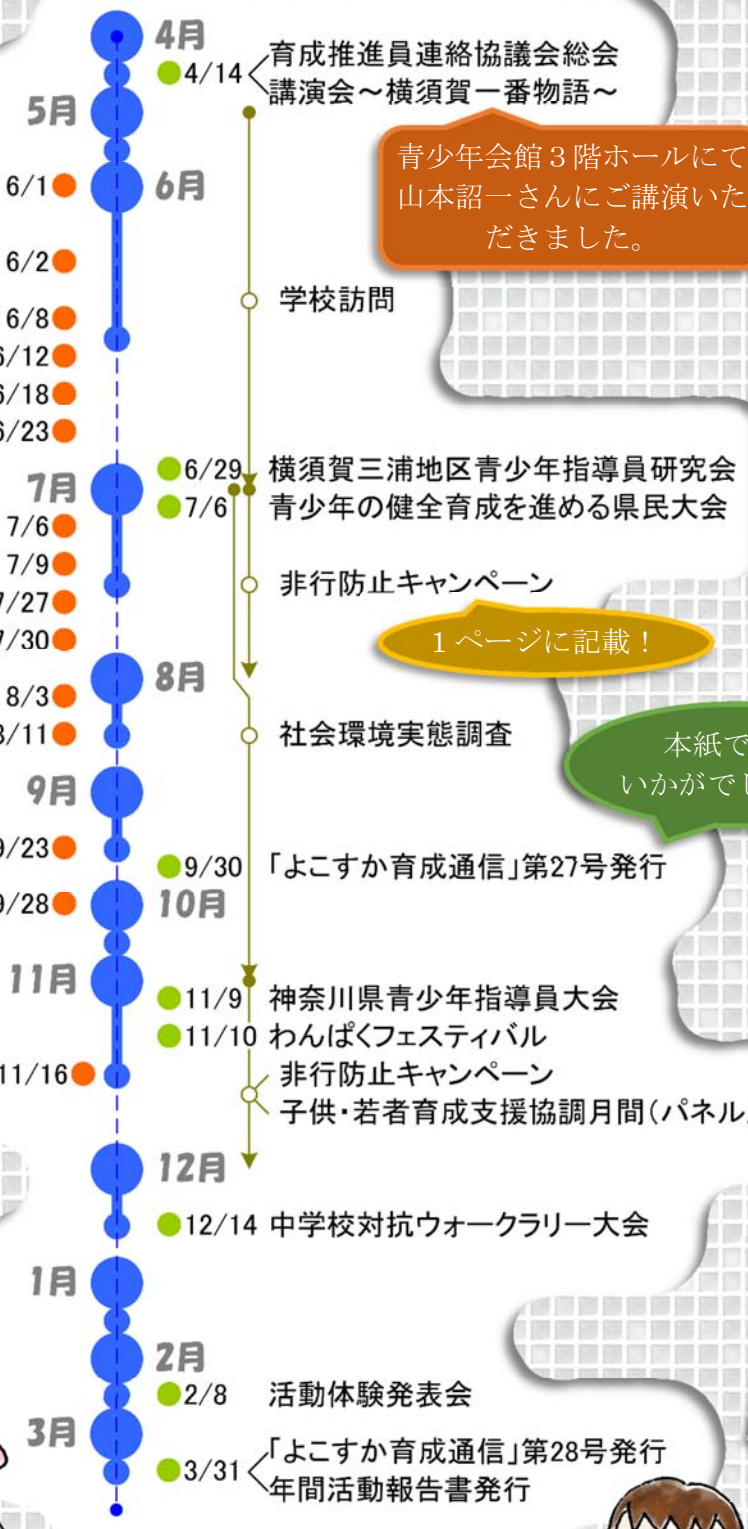
砂の芸術コンクール
野比中学校区



当初は地域連絡会と中学生との交流主体で始めたこの大会も、昨年で 10 年の節目を迎えました。
10 チームに満たない時もありましたが、現在は小学校 5 ～ 6 年生も参加するようになり、昨年は 29 チーム 145 名の参加がありました。参加チームが安定してくるには 10 年かかるのだと思いました。
地元の高校生・大学生の提案により、2 年前から各チームに学生が付き添うことで、子どもの安全が守られています。ラリーを通してコミュニケーションが図られ、学生たちと地域とのいろいろな交流に発展しています。
一方、参加チームが増えて地域の育成担当者や PTA との協力強化が望まれること、また賞品・食事などの費用面の課題など、追浜という限られた地域でラリーを続けていくことの難しさもあります。
でも子どもたちの笑顔を見ていると止めるわけにはいきません。前進あるのみ！
(加藤 和夫)

おっぱまウォークラリーの 10 年

- じゃがいも堀(岩戸)
- 蛍を見に行こう(野比)
- 関東学院大学「創造祭」出店(追浜)
- ツツジの植樹(武山)
- 第1回大津中学校教育力推進会議(大津)
- 中学生との交流事業(久里浜)
- ミニ集会-講演会-(鴨居)
- 目指せレスキュー(野比)
- 七夕飾り(岩戸)
- 講演会(田浦)
- 鴨居八幡(須賀)神社祭礼・宵宮(鴨居)
- そうめん流し(北下浦)
- デイキャンプ(田浦)
- サマーコンサート(長沢)
- 地域ふれあいフェスティバル(神明)
- 地域クリーン活動(追浜)
- 第41回砂の芸術コンクール(野比)
- 第11回おっぱまウォークラリー大会(追浜)



『皆さんは、横須賀の久里浜港にペリーが来航したことをご存じだと思いますが、これから私がお話しすることは、歴史の教科書には記載されていないけれど、横須賀にとっては重要な出来事です。まず、ペリーが来航の時に乗船して来た黒船(蒸気船)はどの位の大きさであったと想像しますか？実際には、久里浜・金谷間の東京湾フェリー位の大きさでしたが、当時の日本には動力船はなく、手漕ぎの小船が主流でしたので、物凄く大きかったのです。』—山本さんの講演は、日本が近代社会へと向かう第一歩をしるした出来事から始まりました。

その他、ヴェルニーの指導によるフランスの技術を取り入れた横須賀製鉄所(造船所)の建設。就業時間の統一と時計台の設置、曜日と休日(日曜日)の設定。更に、サバチエ医師を招いて医療室を設置するなど、横須賀には日本で一番(最初)の文化が沢山あったことを聞き、大変感動しました。これら過去の出来事を、子どもたちにも、是非、聞かせてあげたいと思います。(番場 清隆)

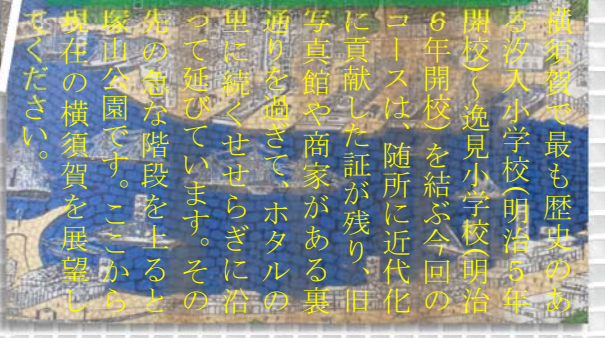
横須賀一番物語



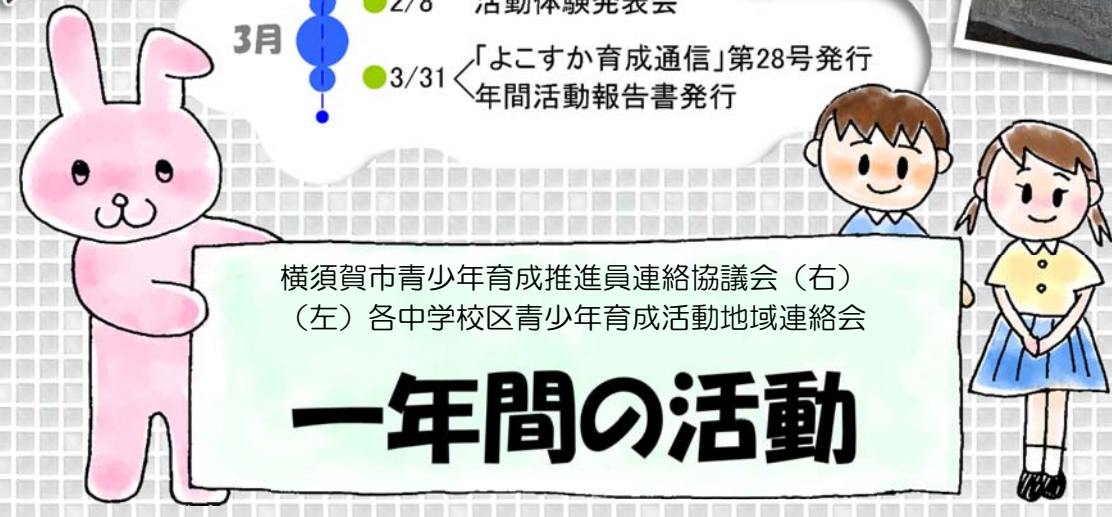
Coming Soon!!

わんぱくフェスティバル2019
開催日程：11月10日(日)10時～
開催場所：神奈川県立保健福祉大学

第14回中学校対抗ウォークラリー大会
開催日程：12月14日(日)9時～
開催地域：坂本中学校区



活動体験発表会
開催日程：2月8日(土)13時～
開催場所：横須賀市青少年会館



横須賀市青少年育成推進員連絡協議会(右)
各中学校区青少年育成活動地域連絡会(左)

一年間の活動

6月29日13時半～ 横三地域指導員研究会

体験演習型研修会

テーマは「コミュニケーションで仲間づくり」です。1チーム5～6名、9チームで始まりました。

まずチームごとの自己紹介では、それぞれが自慢できることを伝え、それに対して全員が「おふしをあげ」「スゴイ」と大きな声で答えます。全員終わるころには、単なる自己紹介と違って、その人の性格や雰囲気、生活スタイルまで感じられるような気がしました。皆の気持ちが一歩近づいたところでコミュニケーションゲームの始まりです。

最初のゲームでは、登場人物の一部しか描かれていない配布カードの内容を、それぞれが言葉で伝え、集まった情報を、チーム全員で整理し、全体図にまとめます。

情報をいかに正確に伝えるかに理解できるかが課題でしたが、私たちのチームは思い込みが強く、残念な結果に。とはいえワイワイと気分は小学生といった感じで、楽しいゲームでした。最後は、半分は切った太いパイプでビー玉をリレー

して、床に置かれた缶の中へ入れるゲーム。小さなビー玉の行方に、ワーワーキヤーカーと我を忘れるひと時でした。



今はメールやラインで済ませることがほとんどになっていきますが、顔を合わせて自分の思っていることを相手に伝える会話は大切だと、改めて思いました。(五井 直子)

7月6日13時

青少年の

健全育成を進める

県民大会

茅ヶ崎市民文化会館

この大会は「青少年の健全育成を地域で担うために、家庭・学校・地域の青少年育成関係者の連携・協力・信頼を深め、豊かなコミュニケーションづくりを進める上で課題を考える場」として開催されました。

「孤立している子どもたちは、その背景に、虐待やいじめ、神経発達症、不登校、貧困などにより、様々な課題を抱えています。」

そのような子どもたちの課題を解決するカギとなるのが「信頼できる他者」に出会えるかどうかです。私は、孤立した子どもたちが「信頼できる他者」との出会いを一つでも多く作れるように、サポーターと共に日々活動しています。

課題を抱えた子どもたちの日常に寄り添い、自立までをサポートする市民の育成を行い、孤立の解消と予防に取り組んでいます。このように「寄り添うこと」で生まれる信頼ははぐくむをテーマとしてお話しされた小澤いぶき先生のご活躍を願っています。(番場 清隆)

写真撮影・掲載

ガイドライン

当協議会では、青少年のプライバシーに十分配慮するため、次のようなガイドラインを定めています。

- ① 主催・共催、地域活動などで撮影した写真を、広報誌、年間活動報告書、ウェブサイトなどや、活動体験発表会、講演会・講習会などで使用するにあたり、
- ② 主催者、参加者に写真撮影する旨を周知する。
- ③ 青少年は、後姿など顔がはっきり認識できないように撮影する（のが望ましい）。
- ④ 容易に個人が特定されるような写真を使用する場合は、ぼかし・モザイク・低解像度化などの画像処理を施す。
- ⑤ 集合写真では、顔がはっきり認識できない程度の距離で撮影する。
- ⑥ その他、撮影された人のプライバシーに配慮するために最善の措置を講ずる。

ゆうやけこやけ

成人して一人暮らししている子どもたちが帰ってきて困らしている。小さい頃の話でもありあがっている。それを聞いていて思い出した。

子育ての時は家計も大変だった。でも子どもたちに、楽しい思い出をつくってほしいとも思った。

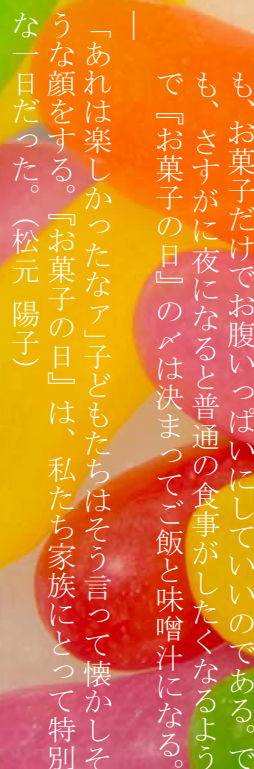
そこで思いついたのが、我が家の夏休みのイベント「お菓子の日」！

夏休みに入ると子どもたちと百貨に行き、かごを二つくらい持ってお菓子の大人買いをする。食べたいものを、片っ端からかごに全部入れる。そのお菓子で一杯の袋を持ち帰り「お菓子の日」がくるまで毎日眺める。ワクワクの日々である。

さあ「お菓子の日」がきた！

朝から食卓に、買ったお菓子を全部並べて「ご飯だよー」を合図に食べたいお菓子を食べていただけ食べる。子どもたちには夢のような時間だ。昼ごはんも夜ごはんも、お菓子だけでお腹いっぱいにしていいのである。でも、さすがに夜になると普通の食事がしたくなるように「お菓子の日」の後は決まってご飯と味噌汁になる。

「あれは楽しかったな」子どもたちはそう言って懐かしそうな顔をする。「お菓子の日」は、私たち家族にとって特別な一日だった。(松元 陽子)



③ 容易に個人が特定されるような写真を使用する場合は、ぼかし・モザイク・低解像度化などの画像処理を施す。

④ 集合写真では、顔がはっきり認識できない程度の距離で撮影する。

⑤ その他、撮影された人のプライバシーに配慮するために最善の措置を講ずる。

編集後記

令和初の広報紙となる本紙27号は、上地市長自筆の題字【よこすか育成通信】にリニューアルしました。新たな紙面作りにも取り組むと、メンバーが一所懸命意見を出し合い、本紙が完成しました。今後も、魅力ある広報紙作りに努めていきます。(K・B)